

若手水稲生産者 県内外の先進農家を視察

～大規模経営に向けた経営手法を学ぶ～

印旛農業事務所改良普及課 令和4年11月1日発

印旛農業事務所では、管内の若手水稲生産者の生産技術と経営能力の向上を図るため、10月27日に神崎町の(農)神崎東部、及び稲敷市のYAMAGUCHIfarm(株)への視察研修会を開催しました。当日は20代～50代前半の若手生産者ら14名が参加しました。

視察先の(農)神崎東部は、約100haで水稲・小麦・大豆を栽培しており、従業員の情報共有にICT技術を活用、ドローンやロボットトラクター等のスマート農機を駆使し効率的な農業に取り組んでいます。また、YAMAGUCHIfarm(株)は、農地の集積・集約化に力を入れ、33haから108haへ規模拡大を達成しています。参加した生産者からは「省力化の取組、中長期的な計画の立て方が参考になった」「ほ場の集約化に向けた取組がためになった」など、経営と技術の安定化に向けた前向きな感想が聞かれました。

農業事務所では、今後も水稲生産者の更なる発展に向けて支援をしていきます。



GPS制御で正確な暗渠を施工



農地の集積・集約化への取組が学びました